

日 程 表 (第1日目 10月8日 (木))

時間	第1会場：メインホール	座長
8:20	開会の辞	
8:30 } 9:10	A-1 口腔領域の特徴的な微小環境が疾患の進展に与える影響の解析 吉本 尚平 (福岡歯科大学 生体構造講座 病態構造学分野／ 福岡歯科大学 口腔医学研究センター)	清島 保 (九州大学)
9:10 } 9:50	A-2 MHC 制御カニクイザルを用いた免疫学的研究 石垣 宏仁 (滋賀医科大学 病理学講座 疾患制御病態学部門)	菰原 義弘 (熊本大学)
9:50 } 10:30	A-3 頭頸部悪性腫瘍の新規治療戦略に向けた腫瘍抗原エピトープペプチドの同定と免疫応答関連分子の探索 長門 利純 (旭川医科大学 病理学講座 免疫病理分野)	山元 英崇 (岡山大学)
10:40 } 11:20	A-4 腫瘍血管を軸とする免疫微小環境の発達過程の解明と免疫療法治療効果予測への応用 紅林 泰 (慶應義塾大学医学部 病理学教室)	相島 慎一 (九州大学)
11:20 } 12:00	A-5 泌尿器癌の治療課題克服を目指す臨床病理学的解析 大江 知里 (兵庫医科大学病院 病理診断科)	都築 豊徳 (愛知医科大学)
12:00 } 12:20	B-1 遺伝子変異に基づく脈管異常の包括的病態解明 廣瀬 勝俊 (大阪大学大学院歯学研究科 顎顔面口腔病理学講座)	山下 篤 (宮崎大学)
12:30 } 13:20	ランチョンセミナー1 会場：第1会場（メインホール） 婦人科腫瘍領域におけるバイオマーカーの最新知見 LS1-1 プラチナ抵抗性再発卵巣癌薬物療法の変遷と個別化医療の展望 渡利 英道 (北海道大学大学院医学研究院 産婦人科学教室) LS1-2 バイオマーカー時代における病理診断の新たな使命 —Precision Medicine を支える診断と最適な治療戦略— 三上 芳喜 (熊本大学病院 病理診断科) 共催：武田薬品工業株式会社メディカルアフエーズ部	笹島ゆう子 (帝京大学)
	ランチョンセミナー2 会場：第2会場（501） LS2 前立腺癌におけるゲノム異常と病理診断—現状と課題— 田代康次郎 (厚木市立病院 泌尿器科) 共催：アストラゼネカ株式会社	都築 豊徳 (愛知医科大学)
	ランチョンセミナー3 会場：第3会場（502+503） 血液腫瘍の診断 LS3 リンパ腫診断のピットフォール：BPDCN を含む鑑別診断の実際 加藤 省一 (佐賀大学医学部 病因病態科学講座 診断病理学分野) 共催：日本新薬株式会社 メディカルアフエーズ部	三好 寛明 (久留米大学)
13:30 } 14:30	特別講演 SL Helicobacter pylori 未感染胃癌の臨床病理組織学的特徴と鑑別診断 1単位 八尾 隆史 (順天堂大学大学院医学研究科 人体病理病態学)	九嶋 亮治 (京都梅小路病理 診断科)
14:40 } 15:40	病理診断学賞講演1 DPAL-1 軟部腫瘍の病理診断：現状と未来 1単位 久岡 正典 (産業医科大学医学部 第1病理学)	吉田 朗彦 (国立がん研究 センター中央病院)

15:50 ～ 17:30	社員総会	会場：第1会場（メインホール）
18:00 ～ 20:00	コンパニオンミーティング1（日本神経病理学会） 神経病理学の基礎から臨床応用まで CM1-1 アルツハイマー病の病理所見 岩崎 靖（愛知医科大学 加齢医科学研究所） CM1-2 統合型術中神経病理診断 ― 手術室と病理医のリアルタイム連携 ― 荒木亜寿香（山口大学 病理形態学講座） CM1-3 非腫瘍性大脳白質病変の生検診断 他田 真理（新潟大学脳研究所 脳資源科学分野・ChBRI） CM1-4 末梢神経疾患の病理所見 小池 春樹（佐賀大学 脳神経内科） CM1-5 筋萎縮性側索硬化症の病理所見 倉重 毅志（国立病院機構 呉医療センター 脳神経内科） オーガナイザー：岩崎 靖（愛知医科大学 加齢医科学研究所） 倉重 毅志（国立病院機構 呉医療センター 脳神経内科）	会場：第2会場（501）
	コンパニオンミーティング2 （日本肺病理学会 JPPS） 1 単位 肺感染症の病理 CM2-1 肺疾患におけるマクロファージの役割を理解する ― 特に非結核性抗酸菌症について ― 菰原 義弘（熊本大学大学院生命科学研究部 細胞病理学講座） CM2-2 肺炎球菌やウイルス性含めた成人肺炎の疫学の話と呼吸器感染症の ワクチンについて 森本浩之輔（長崎大学熱帯医学研究所 呼吸器ワクチン疫学分野） オーガナイザー：元井 紀子（埼玉県立がんセンター 病理診断科） 羽場 礼次（香川大学医学部附属病院 病理診断科・病理部）	会場：第3会場（502+503） 田口 健一 （国立病院機構 九州がんセンター） 三上 芳喜 （熊本大学病院）
	コンパニオンミーティング3 （第17回妊産婦死亡症例病理カンファレンス） 羊水塞栓症 教育講演 妊産婦死亡事例から学ぶ上での病理学の意義 Marian Knight (Maternal and Child Population Health, National Perinatal Epidemiology Unit, University of Oxford) ワークショップ 羊水塞栓症：日英米の診断基準を比較する 症例検討 DIC と産後大量出血を呈した羊水塞栓症の一例 佐竹 真理（東京慈恵会医科大学附属柏病院 病院病理部） 佐藤 峻（東京慈恵会医科大学病理学講座） 指定発言1 羊水塞栓症：病理と凝固障害をつなぐ 小田 智昭（浜松医科大学医学部産婦人科地域医療学講座） 指定発言2 Acute Obstetric Coagulopathy : The UK Perspective Nicola Mutch (The University of Aberdeen, United Kingdom) 指定発言3 Current Challenges in the Pathology of Amniotic Fluid Embolism in the United States Heather Keir (Texas Children's Hospital, United States) オーガナイザー：若狭 朋子（近畿大学奈良病院 病理診断科） 阿萬 紫（宮崎大学医学部病理学講座 構造機能病態学 分野） 竹内 真（大阪母子医療センター病理診断科） 主催：妊産婦死亡症例検討評価委員会 共催：公益社団法人日本産婦人科医会医療安全部会	会場：第4会場（411 + 412） 池田 智明 （妊産婦死亡症例 検討評価委員会） 小谷 友美 （浜松医科大学 産婦人科学講座）

単位：領域講習 指定単位分の受講証を配布いたします。

日 程 表 (第2日目 10月9日 (金))

時間	第1会場：メインホール	座長
8:20 } 9:00	A-6 ゲノム異常から解明する胃腫瘍亜型の発生・進展・相互関係 六反 啓文 (東京都健康長寿医療センター 病理診断科)	桑田 健 (国立がん研究センター東病院)
9:00 } 9:40	A-7 遺伝子相互作用の肝発癌における役割 —肝細胞分化可塑性が生む肝腫瘍多様性— 山本 雅大 (熊本大学 大学院生命科学研究部 (保健学系) 腫瘍病理解析学講座)	原田 憲一 (金沢大学)
9:40 } 10:20	A-8 形態と分子の統合による消化器癌の腫瘍進化と多様性の病理学的解明 林 玲匡 (杏林大学医学部 統合生理学教室)	眞杉 洋平 (東海大学)
10:30 } 10:50	B-2 YAP1 と転写因子発現は、混合型小細胞肺癌における系統可塑性に寄与する 神保 直江 (神戸大学大学院医学系研究科 医科学専攻病理学講座 分子病理学分野)	松原 大祐 (筑波大学)
10:50 } 11:20	表彰式	会場：第1会場 (メインホール)
11:30 } 12:30	病理診断学賞講演 2 DPAL-2 病因、病態、治療法進歩の理解に基づくアミロイドーシスの病理診断 1単位 大橋 健一 (東京科学大学大学院医歯学総合研究科 人体病理学分野)	内木 宏延 (福井大学)
12:40 } 13:30	ランチョンセミナー 4 エドスチラドリン®の臨床的位置づけと、上皮内癌の病理判定における話題について LS4-1 遺伝子治療製品 エドスチラドリン®による NMIBC 患者への膀胱温存治療の新展開 佐々 直人 (愛知医科大学医学部 泌尿器科学講座) LS4-2 尿路上皮内癌を再考してみませんか? 都築 豊徳 (愛知医科大学医学部 病理診断学講座) 共催：フェリング・ファーマ株式会社	会場：第1会場 (メインホール) 鈴木 啓悦 (東邦大学医療センター 佐倉病院)
	ランチョンセミナー 5 LS5 中皮腫と石綿起因性肺がん：疫学的観点から 森永 謙二 (独立行政法人環境再生保全機構 石綿健康被害救済部) 共催：独立行政法人環境再生保全機構	会場：第2会場 (501) 廣島 健三 (東京女子医科大学 八千代医療センター / 袖ヶ浦さつき台病院)
	ランチョンセミナー 6 身近に潜む希少癌の診断と病態 LS6-1 神経内分泌腫瘍 / 癌の基礎～疫学と病態 丸木 雄太 (国立がん研究センター中央病院 肝胆膵内科 / 先端医療科) LS6-2 神経内分泌腫瘍 / 癌の診断 大池 信之 (聖マリアンナ医科大学 病理学講座 分子病理分野) 共催：日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社 医薬開発本部	会場：第3会場 (502+503) 水野 伸匡 (愛知県がんセンター)

13 : 40 }	JSP-IAP Joint Symposium (SY01) 分子病理	
15 : 40	2 単位 Molecular Pathology コーディネーター：Shinya Tanaka (Hokkaido University) SY01-1 Decoding Morphology Through Molecular Pathology: Integrated Diagnosis of Central Nervous System Tumors Kaishi Satomi (Department of Pathology, Kyorin University Faculty of Medicine) SY01-2 Salivary Gland Tumor — Traditional Morphologic Classification with Specific Genetic Alteration Masato Nakaguro (Nagoya University Graduate School of Medicine) SY01-3 Custom Reporting of Comprehensive Oncologic Genomic Profiling: Virtual Sub-panels, Pan-cancer (re)analysis, and Unexpected Findings Ying-Hsia Chu (Department of Laboratory Medicine and Pathology, University of Minnesota, USA) SY01-4 Molecular Oncology Diagnostics - What Practicing Pathologists Need to Know Shuko Harada (Department of Pathology, University of Alabama at Birmingham, USA) SY01-5 Advancing Huntington's Disease Treatment Shota Shibata (Center for Genomic Medicine, Massachusetts General Hospital, USA)	Shinya Tanaka (Hokkaido University) Hiroshi Nishihara (Keio University School of Medicine)
15 : 40 }	ポスターセッション	会場：ポスター会場（2F 多目的ホール）
16 : 10	閉会の辞	

単位：領域講習 指定単位分の受講証を配布いたします。

オンデマンド配信（Web 開催）	
特別講演、病理診断学賞講演、学術研究賞講演、症例研究賞講演などの学術講演会を大会ホームページにて配信	
配信期間：2026 年 10 月 26 日（月）正午～ 11 月 30 日（月）正午 ※予定	
Web セミナー 1	
WS1 骨軟部腫瘍の病理診断 一次期 WHO 分類改定を見据えて— 孝橋 賢一（大阪公立大学大学院医学研究科 診断病理・病理病態学） 共催：アジレント・テクノロジー株式会社	
Web セミナー 2	
血液・リンパ系腫瘍における包括的 DNA および RNA プロファイリング：Archer™ FUSIONPlex® および VARIANTPlex® アッセイを用いた研究志向型 CGP アプローチ WS2 血液腫瘍における DNA/RNA 統合 CGP プロファイリング戦略 Celeste C. Eno（Cedars-Sinai Medical Center） 共催：Integrated DNA Technologies, Inc.	